

# 安全のしおり



令和8年7月1日  
通算第368号  
安全・適正就業委員会

【安全は無理せず焦らず 油断せず】・【草刈機 飛ばす小石は 危険球】

## ■ 夏の交通安全運動

— ヘルメット 命のお守り 忘れずに —

7月10日(金)～19日(日)

夏休みを迎えるこの時期は、行楽客等による交通量・交通の流れの変化や暑さによる集中力の低下などから、重大な交通事故の発生が懸念されます。

一人一人が交通ルールやマナーを守り、交通事故を防止しましょう。

### 運動重点

#### 1. 自転車のヘルメット着用促進と交通ルールの理解・遵守の徹底

- ・ 自転車に乗る時はヘルメットを着用する  
… 乗車中の死亡事故では頭部損傷の事故が最も多く、万一の事故の時は頭部を守ることが重要
- ・ 飲酒運転や「ながらスマホ」の禁止など、基本的な交通ルールを理解・遵守
- ・ 交通反則通告制度（令和8年4月1日～）

#### 2. 飲酒運転の根絶

#### 3. 歩行者の安全確保と安全運転の励行

- ・ 歩行者による横断意思の明示 … 手を上げる、合図する、顔を向けるなど
- ・ 道路横断時の安全確認、反射材の着用
- ・ 安全運転の励行  
… ゼブラ・ストップの徹底（前方確認、ブレーキ、早めのライト点灯、確実なストップ）

## ■ 安全・適正就業強化月間 7月1日(水)～31(金) 【声掛けは 仲間を守る いのち綱】

7月はシルバー人材センター安全・適正就業強化月間です。全国シルバー人材センター事業協会によると令和7年度の重篤事故の件数は前年度から8件増加し、過去5年間で最も多い44件となり、就業中の重篤事故が大幅に増加、そのうち死亡事故が過去5年間で最多の23件となるなど、極めて深刻な状況にあるとのことです。

事故を未然に防ぐためにも1人ひとりが高い安全意識を持ち、就業にあたっては事前の安全確認、保護帽や安全器具の着用、作業における危険予知や予測など、基本を忘れず、初心に戻ることを心掛けましょう。

これから作業によっては繁忙期になります。忙しい時期だからこそ、改めて安全に対して意識し、事故ゼロを目指しましょう。

## ■ 熱中症が疑われる時の応急処置について

気温や湿度が高い日は熱中症発生リスクが高くなり、梅雨の時期でも油断はできません。

もし、就業中に熱中症と疑われる症状が生じた場合は、速やかに作業を中止し、応急処置を講ずるとともに、必要に応じて救急隊を要請するなど対応をお願いします。熱中症は命に関わる危険な症状です。甘く判断せず、早めに対処しましょう。

### ⚠️ もし熱中症かなと思った時は・・・

- すぐに医療機関へ相談し、または救急車を呼びましょう。
- 涼しい場所へ移動しましょう。（クーラーが効いた室内や車内に移動。屋外の場合は風通りのよい日かげに移動）
- 衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう。（衣服を緩めて、体の熱を放出。氷や保冷剤で身体を冷やす）
- 塩分や水分を補給しましょう。（できれば水分と塩分を同時に補給できるスポーツドリンクなどを飲む）

## ■ 令和8年度「千葉県安全就業標語」 最優秀作品 — 草刈機 飛ばす小石は 危険球 —

先日、千葉県シルバー人材センター連合会で募集された「千葉県安全就業標語」について、理事で安全適正就業委員会 委員長である斎藤 秀男さんの作品が最優秀作品に選ばれました。斎藤さんの作品は、令和8年度から千葉県安全就業標語として、3年間使用されます。

ご入賞の由、本当におめでとうございます。